

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 頴娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里（かざり）
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 3 年 2 月（着任 13 ヶ月）
主な活動	1. 西頴娃駅主催のオンライン講演会に参加 2. 空き家再生活動 粗大ごみの整理

1. 西頴娃駅主催のオンライン講演会に参加

2 月 4 日に西頴娃駅主催のオンライン講演会が行われました。「ローカル鉄道と地域の相乗効果づくり」をテーマに設け、ローカルジャーナリストの田中輝美さんを講師に招きました。また、もう 1 人のゲストとして枕崎から、かつ市の代表であり鉄道マニアでもある中原さん。進行役は頴娃おこそ会の加藤さんが務め、全体統括は西頴娃駅の管理・運営委託の責任者である葛岡さん（こちらが鉄道好き）が行いました。会場はゲストハウスふたつや、にて。



私の出身地である鹿屋市には現在鉄道は走っていません。そのため、幼い頃の移動はもっぱら親が運転する車でした。高校時代に通学で JR に乗らないといけなくなった時は、切符の買い方もわからず、友人に改札の抜け方を教えてもらうほど鉄道とは縁遠かったです。しかし、頴娃で暮らし始めてからは日常的に電車が走る音を耳にするようになり、心理的にも少しずつ距離が縮まっています。今回の講演会を通して、その距離がより一層縮まったように思います。

2. 空き家再生活動 粗大ごみの整理

穎娃おこそ会が手掛ける空き家再生の 9 軒目の物件であり、住居でもある「乍らや、」の粗大ごみの整理を行いました。空き家再生の始まりは、家具や荷物の整理から！ といっても過言ではありません。

しかし穎娃町で暮らしはじめて 1 年以上が経ちますが、日々の生活にいっぱいいっぱい、片付けが追いついていませんでした。使っていない部屋に放置していた大きな本棚や使わないテーブルなどを整理・解体し、知人から借りたトラックで穎娃町のごみ処理施設に運び込みました。2 日間に分けて、合計 6 往復ぐらい。中には 10 代の頃から使っていた本棚や机もあり少し寂しさを感じたものの、広くなった部屋を見るとスッキリした気持ちにもなりました。

粗大ごみの処理にお金がかかる自治体もあるようですが、穎娃町ではその負担が少ないのでとても助かっています。

